

# おばま 市議会だより

No. 162



議会報告会を開催しました.....P2  
12月定例会の概要.....P3  
市政を問う！一般質問.....P6

# 議会報告会を開催しました

令和元年 10月23日（水）、11月19日（火）、11月22日（金）の3日に分けて、全12地区の公民館で議会報告会を開催しました。最初に、市議会定例会と防災について報告。その後の意見交換では、皆様から貴重なご意見を数多くいただきました。

## ○議会報告会とは？

小浜市議会基本条例（平成25年4月1日施行）により、年1回以上議会報告会を開催し、議会の説明責任を果たすとともに、市民の皆様からのご意見を議会に反映させることとしています。

いただいたご意見は議会報告会連絡会（構成／議長、副議長、各常任委員長、広報委員長、各班主任）において整理し、必要に応じて政策討論会（全議員）での自由討議等を経て、政策立案や理事者へ提言します。

また、その他のご意見は理事者に回答を求め、「議会報告会実施報告書」としてまとめて、後日、各地区公民館にお届けするとともに、小浜市議会のホームページに掲載しますのをご確認ください。

## ○各会場の参加者数

今回は、合計286名の方に参加いただきました。

前回と比べると15名増加し、各地区で有意義な意見交換ができました。

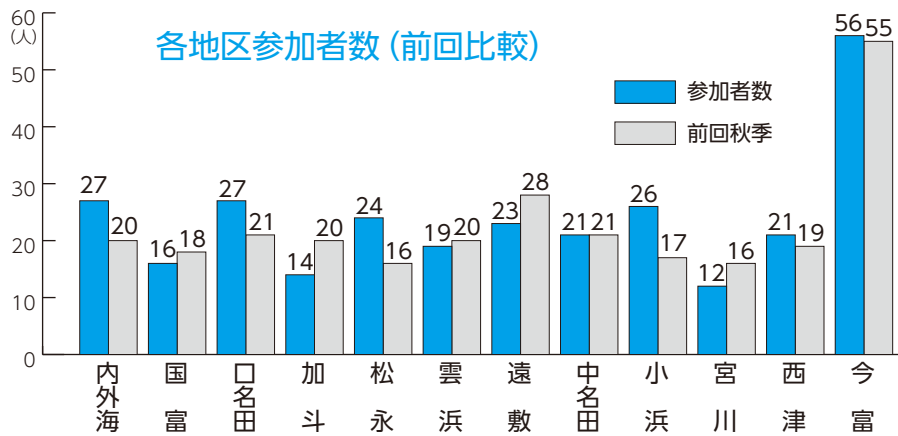
今後とも、多くの市民の方と自由に意見を交わせる場になりたいと思っています。

特に、若い方や女性の意見をお聞きしたいので、ご参加をよろしくお願いたします。

## ○参加者の意見（一部抜粋）

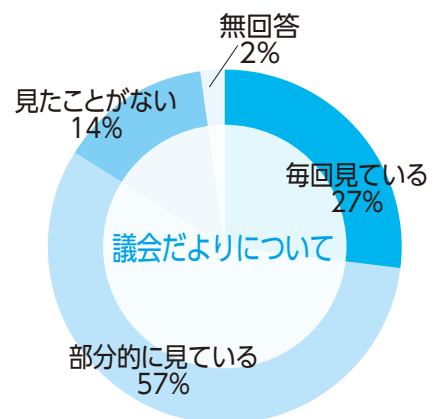
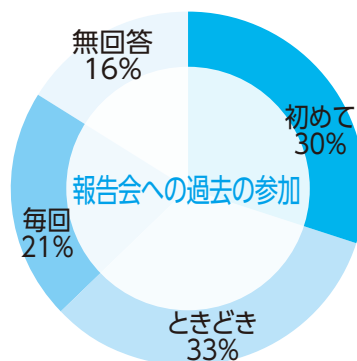
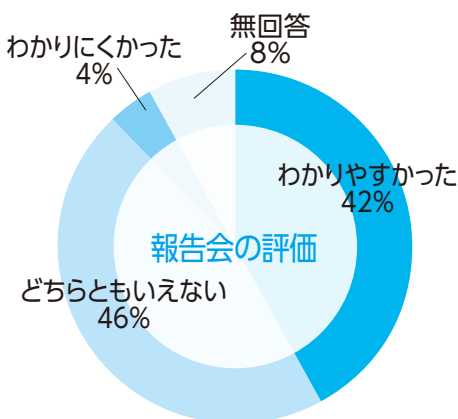
- ・女性や若い方の参加を促すためには、現状、堅苦しすぎる。子育て・教育を中心とした内容に特化して、その後に全体の内容にすれば。
- ・女性や若い人向けの内容（子育て、教育、職業等）を充実して、その内容の周知方法を考えるべき。

- ・議会報告会を高校生対象に開催して小浜市の行政を知ってもらいたい。今まで以上に生徒たちと問題を共有したいしよに考える場が必要ではないでしょう。



うか。  
・質問も多く出て活気があった。回答も明確に説明してもらえたと思われて心地良かった。  
・小浜市の予算や、市の重要な課題などがわかりやすく良かった。防災意識が高まった。

## アンケート結果



## 12月定例会の概要

令和元年第5回定例会  
が、11月29日から12月20  
日まで22日間の会期で行  
われました。

今定例会では、各会計  
の補正予算をはじめ、条  
例その他議案が提出さ  
れ、慎重に審査しました。

### ● 条例

◆小浜市一般職の職員の  
給与に関する条例等の  
一部改正について

賛成全員で可決

◆小浜市特別職の職員の  
給与および費用弁償に  
関する条例の一部改正  
について

賛成全員で可決

◆小浜市議会議員の議員  
報酬および費用弁償等  
に関する条例の一部改  
正について

賛成全員で可決

◆小浜市会計年度任用職  
員の給与および費用弁  
償に関する条例の制定  
について

賛成全員で可決

◆小浜市水道事業の設置  
等に関する条例の一部

改正について

賛成全員で可決

◆小浜市鯖街道ミュージ  
アムの設置および管理  
に関する条例の制定に  
ついて

賛成全員で可決

◆小浜市宮駐車場の駐車  
料金の特例に関する条  
例の制定について

賛成全員で可決

### ● 指定管理

◆御食国若狭おばま食文  
化館「健康くつろぎ広  
場」の指定管理者の指  
定について

賛成全員で可決

◆御食国若狭おばま食文  
化館「食事処」の指定  
管理者の指定について

賛成全員で可決

### ● 請願

◆国に対し「消費税率  
5%への引き下げを求  
める意見書」の提出を  
求める請願書

賛成少数で不採択

◆老朽原発稼働に関する  
請願

賛成少数で不採択

### ● 意見書

◆北陸新幹線の早期全線  
開業を求める意見書

賛成全員で可決

## 【可決した令和元年度補正予算】

会計名	既決予算額	12月補正額	合計
一般会計	155億 5,209万円	1億 4,082万円	156億 9,291万円
特別会計	90億 9,010万円	1億 8,509万円	92億 7,519万円
企業会計	8億 5,032万円	19万円	8億 5,051万円
計	254億 9,250万円	3億 2,611万円	258億 1,861万円

※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

## あなたの1枚で表紙を飾ってみませんか？ 小浜市議会だよりの表紙写真 募集中!!

詳しい要項や過去の議会だよりの表紙は小浜市議会ホームページをご覧ください。ご応募をお待ちしています。

### 【応募規定】

1. 小浜市内で撮影された未発表のもの
  2. 画像データは1作品2～3MB程度のJPEGデータ
- ※メール受信の都合上、画像のデータサイズは2～3MB程度でお願いします。

### 【応募方法】

- ・応募は、データの持参またはメールでお願いします。
- メールアドレス: [gikai@city.obama.fukui.jp](mailto:gikai@city.obama.fukui.jp)
- ・作品名には①題名、②撮影場所、③撮影日時、④住所、⑤氏名、⑥電話番号を明記してください。

### 【その他】

- ・撮影した人物や対象物が個人の所有物である場合には、必ずご本人または所有者の承諾を得てください。(肖像権に関する責任はすべて応募者に属します。)
- ・提出された写真は必要に応じてトリミング等を行うことをご了承ください。
- ・応募いただいた画像は広報委員会にて選考の上、掲載させていただきます。紙面の都合等で掲載できない場合がございますがご了承ください。

## 可決した意見書

### 北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書(概要)

北陸新幹線は、北陸圏が首都圏や関西圏と直接結ばれ、流動人口、定住人口の増加等、地域活性化につながるとともに、経済波及効果も大きいことから、沿線地域の飛躍的発展に大きく寄与するものと期待されている。

政府・与党においては、環境アセスメントを迅速に進めるとともに、建設財源の早期確保に努め、敦賀開業前に新大阪までの工事認可による用地取得を先行的に行うなど、工事期間の出来る限りの短縮と、切れ目ない敦賀・新大阪間の整備により、北陸新幹線全線開業を一日も早く実現するよう、次の事項について強く要望するもの。

1、敦賀・新大阪間の環境アセスメントを沿線地域の意見を踏まえながら、迅速かつ着実に進めること。

1、敦賀・新大阪間の建設財源を早期に確保し、環境アセスメントの終了後は、間断なく整備を進め、2030年度末までに新大阪までの早期全線開業をすること。

※可決された意見書は、国会や関係行政庁に提出しています。

# 令和元年第5回定例会採決結果

## 賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名	項目	件名	
報告	議会の委任による専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)			
予算	令和元年度小浜市一般会計補正予算(第5号)	条例	小浜市特別職の職員の給与および費用弁償に関する条例の一部改正について	
	令和元年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		小浜市議会議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正について	
	令和元年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		小浜市会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例の制定について	
	令和元年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)		地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	
	令和元年度小浜市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)		小浜市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
	令和元年度小浜市下水道事業特別会計補正予算(第2号)		小浜市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	
	令和元年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)		小浜市鯖街道ミュージアムの設置および管理に関する条例の制定について	
	令和元年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第2号)		小浜市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	
	令和元年度小浜市水道事業会計補正予算(第2号)		小浜市営駐車場の駐車料金の特例に関する条例の制定について	
	令和元年度小浜市一般会計補正予算(第6号)		指定管理	御食国若狭おばま食文化館「健康くつろぎ広場」の指定管理者の指定について
	令和元年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)			御食国若狭おばま食文化館「食事処」の指定管理者の指定について
	令和元年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)			小浜市総合福祉センターおよび小浜市デイサービスセンターの指定管理者の指定について
				小浜市ふるさと文化財の森センターの指定管理者の指定について
条例	小浜市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	その他	小浜市道路線の変更について	

## 賛否が分かれた議案等

全=賛成全員(可決・採択) 多=賛成多数(可決・採択) 否=賛成少数(否決・不採択)  
 ○=賛成 ×=反対 欠=出席せず 除=除斥(規定により採決に加われない)  
 棄=棄権(採決時に退席)

項目	件名	採決結果	杉本和範	東野浩和	川代雅和	坂上和代	熊谷久恵	竹本雅之	牧岡輝雄	藤田靖人	佐久間博	小澤長純	今井伸治	能登恵子	下中雅之	垣本正直	藤田善平	風呂繁昭	富永芳夫	池尾正彦	賛成	反対	
請願	国に対し「消費税率5%への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願書	否	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	1	16
	老朽原発稼働に関する請願	否	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×		○	×	×	×	×	×	×	×	2	15
意見書	北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書	全	○	○	○	棄	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	16	0

※今井伸治議員は議長のため採決には加わっておりません

## 議会を傍聴しませんか?

住所と氏名を書くだけで傍聴することができます。小浜市役所5階の議会事務局までお越しください。

### 一次回定例会の日程

- 2月20日(木) 本会議
- 2月21日(金) 本会議
- 3月10日(火) 一般質問
- 3月11日(水) 一般質問
- 3月23日(月) 本会議

## 今月の表紙

令和元年10月23日(水)、11月19日(火)、11月22日(金)の3日に分けて、全12地区の公民館で議会報告会を開催しました。

内外海・遠敷・宮川・今富公民館の議会報告会の様子です。

# 委員会審査

## 予算決算常任委員会 (12月補正)

### ◆障害児通所等支援事業 2394万7000円

【説明】 障害児通所サービスの利用者の増加による補正。

【問】 放課後等デイサービスの各事業所における定員に対して、本市の利用者が多いことについて、その利用状況を問う。

【答】 本市の利用者は45人おり、本市の事業所（C o k o U t a と G r i p キ ッズ）のほか、近隣自治体の事業所を利用している方もいる。事業者が利用者の障がい特性に合わせて利用する曜日を指定している。毎日同じ事業所を利用するのではなく必要に応じて、複数の事業所を利用することができ、近隣の自治体の事業所を利用する場合でも送迎がある。

### ◆自立支援医療事業 1086万6000円

【説明】 更生医療対象者の増加に伴う医療費の増加による補正。

【問】 昨年度に比べて事業費が増額になっている要因を問う。

【答】 事業費の予算は人数計算ではなく、月々の医療費の実績に基づく計上であり、医療費の10割を負担することとなる生活保護受給者の方の入院という事情により、医療費の伸びが著しかったことが大きな要因。

### ◆高齢者運転免許自主返納支援事業 64万円

【説明】 申請件数の増加による補正。

【問】 支援が1回限りであることから、地域差に対しての考慮と継続的な支援の考え方を問う。

【答】 運転免許証自主返納の契機として支援するもので、現在は地域差を考慮しておらず、一律1万円、1回支援となっている。

#### 意見

- ・高齢者の孤立防止など生活面でのサポートのために関係機関と連携を図ってほしい。
- ・コミュニティバスのフリー

乗車券の交付を検討してもらいたい。

## 総務民生常任委員会

### ◆議案第91号 御食園

若狭おばま食文化館「健康くつろぎ広場」の指定管理者の指定について

【説明】 「イワシタ物産株」を「濱の湯」の指定管理者とするもの。

【問】 収支予算書で利用者が2年毎に2千人ずつ増加の見込みとしているが、そのための方策は。

【答】 お食事処「濱亭」でのメニューの開発やアマモ風呂などの提案をいただいている。

### ◆議案第92号 御食園

若狭おばま食文化館「食事処」の指定管理者の指定について

【説明】 「株」まちづくり小浜を「濱の四季」の指定管理者とするもの。

【問】 目標利用者数、年間2万6千人を達成するための方策は。

【答】 A級グルメの考え方を基本に、企業や各種団体

の貸切利用などの営業活動、平日夜間の団体予約客の受け入れなどを検討している。

### ◆議案第96号 小浜市

営駐車場の駐車料金の特例に関する条例の制定について

【説明】 鯖街道ミュージアムのオープンに合わせ、まち歩き促進による賑わいの創出やまちの駅周辺の駐車場不足に与える影響を検証するために、広峰駐車場と大手第一駐車場の昼間2時間無料化を社会実験として実施するもの。

【問】 実験後の活用方法と周知にかかる費用の対応は。

【答】 効果があれば取り扱いは継続。費用は既決予算で対応する。

### ◆請願第1号 国に対し

「消費税率5%への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願書

【意見】 社会保障費の増加が見込まれる中、その財源

を減らすことに対して疑問を抱く。

・社会保障費の財源としては国民が平等に負担し、不景気でも安定的な税収が見込める消費税が適切である。

## 産業教育常任委員会

### ◆議案第88号 小浜市

水道事業の設置等に関する条例の一部改正について

【説明】 簡易水道事業と下水道事業の経営基盤強化と指定給水装置工事事業者制度が改善されたことに伴う改正。

【問】 簡易水道事業の水道会計との会計統合後の運営と簡易水道料金の格差に対する考え方を問う。

【答】 最終的に一つの水道会計事業とする。また水道事業全体として簡易水道の料金格差の是正をしていきたい。

### ◆議案第89号 小浜市

街道ミュージアムの設置および管理に関する条例の制定について

【説明】 鯖街道ミュージア

ムの設置および管理について必要な事項を定める。

【問】 管理体制および活用方法を問う。

【答】 管理は、指定管理者に行わせることができるがオープン後約1ヶ月は市直営で管理する。活用については、日本遺産のガイダンスセンターとして市内外に発信する他、ギャラリー展示やワークショップ等に活用する。

## 地域防災・原子力安全対策特別委員会

### ◆請願第2号 老朽原発稼働に関する請願

【意見】

・平成23年に小浜市議会にて可決された「原子力発電からの脱却を求める意見書」を踏まえ、稼働は認めるべきではない。

・老朽原発の廃炉は、電力コストや環境問題を踏まえた全体的なエネルギーの在り方に関する検討が必要。

・安全対策工事の即時中止と原子力発電所の廃炉は別問題としてとらえる必要がある。

# 市政を問う！一般質問

令和元年第5回（12月）小浜市議会定例会

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。

氏名	質問項目	氏名	質問項目
風呂 繁昭	1. 中長期的な行政運営について 2. 安心安全のまちづくりについて 3. 小、中学校の統合、再編について	杉本 和範	1. 「外貨を稼ぐ」という構想について 2. 第6次小浜市総合計画について 3. 小浜市が目指す「教育の方向性」について
垣本 正直	1. 土地改良事業の推進について 2. 新集落活性創造について	坂上 和代	1. 市立保育園統廃合及び民営化計画について 2. 旧芝浦工場跡地の利用について
牧岡 輝雄	1. 企業誘致と雇用の確保について 2. 令和2年度重要要望について	下中 雅之	1. 小浜市の子育てを取り巻く環境について
熊谷 久恵	1. 市民が望む生活路線バスにするために	佐久間 博	1. 小浜市の食関連産業の充実 2. コンパクトシティ+ネットワークの実現
能登 恵子	1. 家族介護者を支援するために	東野 浩和	1. 琵琶湖若狭湾快速鉄道について
小澤 長純	1. 台風・集中豪雨対策について 2. 消費税増税の影響について		

**問** 小浜地区の夢トーフの中で、防犯が問題視

**問** 人口減少、少子高齢化が進展する中、中長期的な見通しを立てて、行政運営を行う必要がある。施設やインフラ整備計画はあるが、職員数や組織体制の計画は示されていない。行政のデジタル化や事務処理を自動化する必要性と、今後の財政運営を問う。

**答** 令和元年度の歳入歳出差引額はプラスになるが、令和2年度以降はマイナスとなる見込みで、厳しい財政運営を迫られる。また、知的な行動を人間に代わってコンピュータが行うAIや、定型業務の自動化を図るRPA等の技術を導入し、行政の集中、選択、スリム化を進めていく事が求められる。



**風呂 繁昭**  
議員

## 人口減少の中、中・長期的な行政運営を

され、無人の簡易宿所の防犯カメラ設置の安全対策について問う。

**答** 地域住民の安心安全の確保は最も重要であると認識している。今後出来る限りの対応をしていく。

**問** 小浜美郷小学校が今年4月に開校になり、教職員25名減、給食調理員4名減、学校生活支援員1名減の中、最適な教育環境や、統合再編のあり方を検討されると思うが、今後を問う。

**答** 恵まれた教育環境の中で、児童や教職員がいきいきと学校生活を送られている。建設費の他、通学におけるスクールバス運行経費の財政負担等の課題を、多角的多面的に検証する。児童数減少の中、中学校の再編を含め、小中一貫校等、専門家や市民の代表者の「統合問題検討委員会」を設置して、再編を立案する。

し議論していく。また、

**問** 人・農地プランの実質化の取り組み状況を問う。

**答** 法人の設立や農地の集積・集約、農業機械の導入や土地改良等、地域農業の課題解決に向けた支援を行う。

**問** 今後の土地改良事業の取り組みを問う。

**答** 地域が一丸となり持続的に稼ぐ力を持つ強い農業に取り組み経営体の地域から、早期に実施できるよう、地元や県との協議を進める。

**問** 新幹線敦賀開業や、敦賀大阪間の計画が進む中、東小浜周辺の農地利用の在り方を問う。

**答** 東小浜駅周辺は農振地域内であり現在は農業利用が基本である。新幹線駅の位置が固まってく中で、農業振興と新幹線駅の両面を考慮



**垣本 正直**  
議員

## 人口減少対策は地域のまち協と協働で!!

農振地域の内外を問わず、民間事業者が許可なく農地の転用は認められない。

**問** 人口減少が進む中、地域・集落の持続・活性化「新集落活性創造」の取り組みを問う。

**答** 近隣の集落との活動の集約化や共同化と連携が必要、集落活性化支援事業では①担い手の育成②集落の維持機能③集落活性化策に取り組み、小規模・高齢化集落の機能維持や地域全体の活性化を図る。

**問** 松崎市政、3期約12年の総括と7月の市長選挙にどう臨むか問う。

**答** 在任中一番の成果は北陸新幹線小浜・京都ルート決定で、小浜開業に向け、敦賀開業から切れ目ない着工が最も重要であり、小浜開業を見据えた新たなまちづくりの取り組みを早急に進める必要がある。市民の皆様のご支援が得られるなら、引き続き市政を担わせていただきたい。

# 一般質問



**牧岡 輝雄**  
議員

問 人口減少が進む中、若者の定住人口を増やしていくには企業誘致は特に必要であり、成功の鍵となるのは、インターネット環境などのインフラ整備と、若者にとって魅力あるまちづくりを進めることだと考えるが問題点や考え方を伺う。

答 企業側が求める土地の面積不足や市内の遊休地、空き工場等、物件が企業の希望に合致しないことや企業が求める人材が集まらないなどの問題がある。

問 人手不足の問題解決に向けた戦略を伺う。

答 U・Iターンの促進や複数社合同でのインターンシップの実施、保護者向け企業見学バスツアーへの参加呼びかけ等、働きたい職種と雇用のミスマッチ解消に取り

## 企業誘致と雇用の確保について

問 企業誘致には通信インフラの整備や若者に魅力あるまちづくりが必要と考えるが所見を伺う。

答 情報インフラの整備は重要と認識している。情報・通信の企業誘致促進には10ギガビットの容量が必要で、光ケーブルの引き直しなど課題の研究・検討を行い、通信業者に対して実現のための要望を行う。またなかの賑わい創出は、若者の市内企業への就職や地元での起業につながるものと考えている。高橋生のまちなかカフェや駅前インフォメーションセンターの活用など、またなか若者が気軽に集える空間を増やすことで、市全体の賑わい創出につながる。現在、小浜駅通り商店街振興組合、商工会議所と共に高校生のアイデアを収集し、またなかの賑わいづくりの協議を行っている。



**熊谷 久恵**  
議員

問 平成28年85人、29年103人、30年93人、本年11月末で例年の1.5倍増加の見込み。

問 国道162号線から市道生野尾線へのあいびの路線変更は、乗車数増加になるとの声があるが課題は。

答 人口増エリアで需要は見込めるも、積雪時走行の安全確保、交通集中時間帯の定時運行維持が課題。警察・国・運行事業者・地元の見解など関係機関の調整が必要。利便性向上に向け検討する。

問 利用増の為、ポランティアポイントバス回数券で還元しては。

答 先進地の取組みを研究したい。

問 病院買収物、銀行、学校、福祉関係、行政手続き、飲食など生活に沿った周遊路線バスの検討と地域をつなぐ路線バスを連動し利便性の向上を提案する。

答 市民ニーズに合った路線バスを、社会実験も含め検討していく。

問 昨年度利用状況は。

答 年間乗車数8万2853人、平成14年開始時より6割に減少。赤字は市で補助。平日毎日運行の朝夕は小中高生が7割一般3割。日中は一般客のみ(高齢者等)。

問 利用促進の啓発は。

答 10回分料金11枚回数券の発行、小学生対象バス乗車訓練等。

問 利用者が伸びない課題は。

答 市民の多くが車移動の利便性を認識。病院・スーパーなどを循環運行や部活終わり時間に対応した運行を望む要望あり。

問 高齢免許保有者数は。

答 平成30年は65歳以上5443人、うち80歳以上814人。

問 免許自主返納支援事業申請者数は。

## 市民が望む生活路線バスにするためには

問 厚労省によると平成29年は①9万9千人で8割が女性。②25万3千人で7割が女性。③おおよそ20万人で、5人に1人が担っている。小浜市も老々介護が増えてきている。

問 小浜市の相談体制と相談件数は。

答 平成29年度は前年から1100件増加し



**能登 恵子**  
議員

5910件。その中で、虐待関係の相談が2倍に増えた。現在2か所の相談窓口と、必要な方には24時間体制で電話・メール相談も受け付けている。

問 介護保険に繋がらない家族介護者へのアプローチは。

答 小浜市地域見守り活動や民生委員とケアマネの連携、交流事業を年4回開催。粘り強く良い関係づくりにも努める。

問 「幸福度日本一」の県で、女性・母親の負担が重いという声が多い中、介護に関して「母親だけが負担を抱えなくてもよい」という意識改革も必要と思うが、考えを伺う。

答 共働き世帯全国1位、働きながら子育て、介護など負担感は認識している。地域包括支援センターを活用して欲しい。社会のあらゆる分野の活動に男女共同参画の実現を推進したい。

福井県内でも、今年家族介護の疲れによる殺人が起こり、心が痛みます。家族を大切に思う良い嫁であることが、多くの負担を抱えることとなっています。そこで、「家族介護者を支援するために」のテーマで、小浜の支援状況と今後の対策について伺う。

問 ①介護離職②育児と介護のダブルケア③多重介護者の実態は。

答 厚労省によると平成29年は①9万9千人で8割が女性。②25万3千人で7割が女性。③おおよそ20万人で、5人に1人が担っている。小浜市も老々介護が増えてきている。

## 家族介護者もつながろう、包括支援に

問 介護保険に繋がらない家族介護者へのアプローチは。

答 小浜市地域見守り活動や民生委員とケアマネの連携、交流事業を年4回開催。粘り強く良い関係づくりにも努める。

問 「幸福度日本一」の県で、女性・母親の負担が重いという声が多い中、介護に関して「母親だけが負担を抱えなくてもよい」という意識改革も必要と思うが、考えを伺う。

答 共働き世帯全国1位、働きながら子育て、介護など負担感は認識している。地域包括支援センターを活用して欲しい。社会のあらゆる分野の活動に男女共同参画の実現を推進したい。



小澤 長純 議員

**問** 台風19号では多くの中小河川が氾濫した。今後の河川対策をどう考えるか。

**答** 引き続き国・県に要望していく。市管理河川も適正な維持管理に努めていく。

**意見** 南川は、平成23年に河川整備基本方針が策定されたが、河川整備計画がまだに策定されていない。早急に整備計画を策定していただきたい。

**問** 土砂災害特別警戒区域のすべそばに指定避難場所があるところがある。見直しが急務と思うが。

**答** 避難所の見直しについては、小浜美郷小学校を新たに指定したほか、総合運動場の屋内多目的広場を一時的な避難場所として活用を検討している。

## 台風・集中豪雨にできる限りの対策を！

**問** 自主防災組織の充実に市がもっと関与すべきでは。また、防災士の役割は。

**答** 出前講座に積極的に関わり組んでいる。今後は、災害図上訓練や避難所運営訓練も取り入れていきたい。防災士については、防災士のネットワークを構築する必要があることから、「小浜市防災士の会」の結成を今年度中に予定している。

**問** 国は、今回の消費税増税で、過去の反省を踏まえ、軽減税率等緩和策をいろいろ考えたが、小浜市が料金設定する事業においては、どのような配慮をしたのか。

**答** 540円未満のものについては、据え置いた。

**意見** 今後は、水道料金など毎日欠かせないものについては、市民目線・市民感覚を忘れることなく、きめ細かい料金設定を心がけていただきたい。



杉本 和範 議員

**問** 「生涯食育」「義務食育」「食のまちづくり」を推進し評価が高い本市として、足元の将来を担う子供たちの日々の「給食の問題」についてどう取り組むか方針を伺う。

**答** 給食調理員不足の解消については、処遇の改善をはじめ、これまで様々な対応を進めてきたものの、いまだ問題の解消につながっておらず、児童生徒をはじめ保護者の皆様にご苦労とご心配をお掛けしていることに対し、私自身心を痛めているところである。給食調理員の確保については、「自校式学校給食」を継続していくことを前提として、既に本市の公立保育園で取り組んでいる民間事業者による給食業務の実施や県内他市町における業

## 「食のまちづくり」と給食課題への対応



食文化館のパンフレットより

務委託による自校式学校給食の実施例を参考にしながら、学校給食調理員の確実な人材確保と、安定した学校給食の実施に向けた抜本的な検討を一日も早く実施し、温かく、美味しい学校給食が提供できるよう努めてまいりたい。

**意見** 日本初の「食のまちづくり条例」を制定している本市として原点に立ち戻り未来の食を最優先で守ってもらいたい。



坂上 和代 議員

**問** 国の構造改革路線のままいくと、公が担うべきことを市場化してしまい、極論すると公立保育園が危ういと危惧するが、「保育園の統廃合・民営化計画」の基本的な考えは。

**答** 子どもの最善の利益を第一に考え、民間事業者や関係機関等との連携を強め、全ての子どもに適切な保育環境を確保することをめざしている。そのため、現有の施設や保育士等を集約して適切な規模に改め、質の高い保育を確保する必要がありこの計画を策定した。

**問** 寄せられたパブリックコメントの内容は。

**答** 「財政難と保育士不足からの民営化を根本から見直してほしい」「私立になると営利主

## 「浜っ子こども園」を公立のまま残して

義に走らないか不安」など、浜っ子こども園を公立のまま残してほしいという意見が複数あった。

**問** その意見をどのように反映したか。

**答** パブリックコメントの意見も参考にしながら、市全体の枠組みを考えた中で取り組んでいく。

**問** 浜っ子こども園の民営化は、どのように検討していくのか。

**答** 浜っ子こども園は、土曜・延長保育、障がい児保育等々、他の公立園にはない中核的な機能を有している。市全体の保育のあり方を考える中で、中核的機能等の検証を行いながら検討を重ねる。

**問** 小浜小学校隣の、旧芝浦工場跡地を文教地区指定にできないか。

**答** この土地は現在「工業地域」に指定されている。用途地域の変更や文教地区の指定については、今後のまちづくり計画を見据えて検討していく。



# 一般質問

延長保育や休日保育、希望は増加傾向にあり、多様化し、未満児の入園に伴い、雇用・就労形態が

女性社会進出により、子育てを取り巻く環境は大きく変化してきているが、小浜市の保育を取り巻く課題について伺う。

問 近年において少子化や核家族化の進展、女性の社会進出などにより、子育てを取り巻く環境は大きく変化してきているが、小浜市の保育を取り巻く課題について伺う。

答 女性の社会進出に伴い、雇用・就労形態が多様化し、未満児の入園希望は増加傾向にあり、延長保育や休日保育、



下中 雅之 議員

## 子ども達にとって最も良い保育環境を！

医療的ケア児への対応など、保育ニーズも多様化している。一方で公立園の運営に係る経費のことなども踏まえたうえで、子ども達にとって最もよい保育環境を確保すべく、持続可能な保育園のあり方の検討を重ねていく必要がある。

問 小浜市立保育園統廃合及び民営化計画について、合同保育に対する考え方を伺う。

答 本市における合同保育の目的は、小規模な保育園等に在園する園児を、大きな規模の保育園で保育することを通して、園児の社会性や協調性、また思いやりの心を育てることである。合同保育は、令和2年度から宮川保育園と松永保育園において行うこととし、また中名田保育園と口名田保育園においてもその実施について検討していきたいと考えている。

問 小浜市立保育園統廃合及び民営化計画について、合同保育に対する考え方を伺う。

答 本市における合同保育の目的は、小規模な保育園等に在園する園児を、大きな規模の保育園で保育することを通して、園児の社会性や協調性、また思いやりの心を育てることである。合同保育は、令和2年度から宮川保育園と松永保育園において行うこととし、また中名田保育園と口名田保育園においてもその実施について検討していきたいと考えている。

問 小浜市立保育園統廃合及び民営化計画について、合同保育に対する考え方を伺う。

答 本市における合同保育の目的は、小規模な保育園等に在園する園児を、大きな規模の保育園で保育することを通して、園児の社会性や協調性、また思いやりの心を育てることである。合同保育は、令和2年度から宮川保育園と松永保育園において行うこととし、また中名田保育園と口名田保育園においてもその実施について検討していきたいと考えている。

志積の「漁家レストランと宿泊施設」の概要と人材確保状況は。

問 志積の「漁家レストランと宿泊施設」の概要と人材確保状況は。

答 志積の「漁家レストランと宿泊施設」の概要と人材確保状況は。

問 志積の「漁家レストランと宿泊施設」の概要と人材確保状況は。

答 志積の「漁家レストランと宿泊施設」の概要と人材確保状況は。



佐久間 博 議員

## 食文化を活かしたオンリーワンのまち！

問 小浜のブランド力の向上につなげたい。地域おこし協力隊を募集して問い合わせもある。今後の展望は。

答 新幹線全線開通を見据えた人やモノの交流を活発化させる。

問 立地適正化計画の目的、内容は。

答 生活サービス等持統できる「居住誘導区域」「医療や商業施設等都市機能を有する」「都市機能誘導区域」を設定し、立地誘導をする。

問 コンパクトシティ+ネットワークの課題と状況は。

答 地区別の人口、高齢化の動向、土地利用状況、空き家状況等調査、分析を行っている。

問 今後のプロセスは。

答 「新幹線を活かした新まちづくり構想」の策定中で来年度には「第六次小浜市総合計画」で指針を不す。

問 新幹線駅からのネットワーク充実を図る。

答 新幹線駅からのネットワーク充実を図る。

問 新幹線駅からのネットワーク充実を図る。

答 新幹線駅からのネットワーク充実を図る。

問 新幹線駅からのネットワーク充実を図る。



東野 浩和 議員

## 琵琶湖若狭湾快速鉄道の構想は残すべき

問 アイデアを活かせる地域鉄道を充実することの必要性を伺う。

答 沿線住民にとって日常生活に密着した移動手段であり、充実することとは重要である。しかし、社会変化により利用客が減少傾向にあるため、市では利用促進策として運賃助成を実施している。また、観光面では、関係団体により沿線のレンタサイクル整備や観光列車の運行など、アイデアを活かした誘客に取り組んでいる。

問 「琵琶湖若狭湾快速鉄道」の積立基金の使途について伺う。

答 北陸新幹線延伸を見据え、高速鉄道時代に適応した嶺南地域創生のために活用したい。

問 快速鉄道の推進運動および基金積み立てを中止したが、現在の

考えを伺う。

答 快速鉄道の整備には大きな課題がある中、新幹線小浜・京都ルートが決定した。短時間に安価でつながること、快速鉄道の大きな目的の大半を達成できる。今後は新幹線小浜・京都ルートに全力を注ぐことが重要と考える。

意見 未来において、アイデアを活かし幅広い活用が期待できる地域鉄道を考えることは、嶺南地域発展のために重要である。特に大都市とダイレフトにつながる地域鉄道には、大きな誘客・交流資源となりえる可能性がある。観光・レジャーはもとより若者によるイベント企画など、沿線走る地域が同じ目的のもので交流し、地域力を高めることができる。新幹線の利点とは別のものとして、この構想は中止ではなく、休止として残すべきである。

## 議会運営委員会視察研修報告

視察日 令和元年11月13日～15日  
視察先 北海道登別市・栗山町

登別市議会は、議会条例「登別市中小企業地域経済振興条例」等を制定

しています。市民サポートや各種団体との意見交換会も盛んで、議会のIT化の推進、議会基本条例の遵守、目的達成のための「チェックシート」や「議員自己評価表」を導入しています。

栗山町議会は改革を推進するための「議会改革推進会議」を設置しています。議会サポーター制度では、議会の政策形成、立案機能を高めるため5名の有識者が就任しています。議会報告会は参加者の固

定化が課題で子育てサークルやヨガ教室に出向いて実施しています。小浜市議会で議会モニター制度等の導入を検討するにあたっては、目的を明確にしなければならぬと感じました。



栗山町議会視察

## 総務民生常任委員会視察研修報告

視察日 令和元年11月7日  
視察先 京都府京丹後市

保育所統廃合の実情を視察しました。統廃合にあたっては、保護者等から、安全面や通園距離、地域が寂しくなることなどに不安や懸念の

声に対して、説明会の複数回実施、通園バスの運行など、丁寧な対応を行っていました。園児、保護者に寄り添ったケアの必要性を認識しました。

## 産業教育常任委員会視察研修報告

視察日 令和元年10月21日  
視察先 福井市・鯖江市

福井市「越廼サテライトオフィス」は、市外の方と地域住民との交流、移住・定住、周辺の観光資源の活用を目的に整備、働くこと（ワーク）と休暇・観光（バケーション）を両方楽しむ「ワーケーション」施設と

鯖江市のサテライトオ

視察日 令和元年11月6日～7日  
視察先 岡山県西粟倉村・徳島県神山町

西粟倉村は上質な田舎を実現する「百年の森構想」の村の理念のもと「現状、地域にない価値を積み上げていく、増やしていく」という考えで、若者が移住・起業するプロセスに「ローカルベンチャースクール」等チャレンジしやすい環境づくりを進めています。

神山町はサテライトオ

フィスや起業者の先進地で、町に必要な「働き手」「起業家」を選び、町のデザインをしています。移住者のつながりで多様な職種、趣味思考の人材から新

「ワーケーション」施設と「ワーケーション」施設とされています。鯖江市のサテライトオフィス「桃むどう」は、空き家を活用して子育て中の女性が働きやすく、挑戦しやすい環境をめざし認可外保育園の設置等を行っています。雇用の確保において効果的な環境を整備している点

が今後の参考となりました。

## 北陸新幹線早期全線開業特別委員会視察研修報告

視察日 令和元年10月7日  
視察先 石川県小松市・加賀市

北陸新幹線（金沢～敦賀）開業に伴う、石川県内の（新）駅舎および駅周辺のまちづくりについて、現地視察を行いました。駅周辺のエリア別開発計画や、地域の特性に合わせた二次交通ネットワークなどの説明

を受け、多くの知見を得ることができました。その中でも、小松市の空港と駅を結ぶ自動運転鉄道の計画は、今後の小浜市を考えるうえで参考になりました。

## 北陸新幹線早期全線開業特別委員会要望活動報告

実施日 令和元年11月27日  
要望先 福井県・福井県議会

北陸新幹線の早期全線開業について、北陸新幹線早期全線開業特別委員会が、今井議長、猪嶋副市長とともに福井県におよび福井県議会へ要望活動ならびに意見交

換を行いました。福井県の中村副知事からは、事務的な作業はほとんど進めていくので、新しいまちづくりを、規制概念を取り払って進めてほしいという発言を、福井県議会の田中議長からは、北信越5県プラス京都・大阪で連携して活動していきたいとの発言をいただきました。

## 京都市会訪問

令和元年11月19日に本市議会の今井議長、下中北陸新幹線早期全線開業特別委員長が京都市会を訪問し、山本議長・青野副議長と懇

談しました。北陸新幹線の経緯や開業効果・重要性、開業に向けた小浜市議会の取り組みなどを説明し、今後も交流を深めていくことを確認しました。

# 議会活動日誌

(主な活動のみ掲載しています)

## 10月

日	曜	行事等内容	出席者
4	金	議会運営委員会 全員協議会	関係議員 全議員
7	月	北陸新幹線早期全線開業特別委員会管外視察(石川県小松市・加賀市)	関係議員
8	火	公立小浜病院組合議会	関係議員
9	水	広報委員会 福井県市議会議長会県要望活動	関係議員 議長
11	金	小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会正副会長会議	関係議員
15	火	総務民生常任委員会	関係議員
17	木	福井県市議会議長会中央要望活動	正副議長
18	金	北信越市議会議長会評議員会	議長
19	土	川越祭り(埼玉県川越市)～20日	副議長・関係議員
20	日	小浜市民体育祭	議長ほか
21	月	産業教育常任委員会管外視察(福井市・鯖江市) 京都大原今津小浜間国道整備促進期成同盟会・鯖街道まちづくり連携協議会合同要望活動(滋賀県大津市)	関係議員 議長
23	水	若狭消防組合議会 議会報告会(内外海・国富・口名田・加斗)	関係議員 全議員
24	木	小浜市戦没者追悼式	全議員
28	月	福井県市町議会議員合同研修会(福井市)	全議員
29	火	福井県後期高齢者医療広域連合議会(福井市)	議長

## 11月

日	曜	行事等内容	出席者
1	金	議会運営委員会、北陸新幹線早期全線開業特別委員会、総務民生常任委員会	関係議員
3	日	小浜市表彰式、総合文化祭開会式	全議員
5	火	小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会要望活動(滋賀県大津市ほか)	副議長
6	水	産業教育常任委員会管外視察(岡山県西粟倉村・徳島県神山町)～7日 全国市議会議長会評議員会(東京都内)	関係議員 議長
7	木	総務民生常任委員会管外視察(京都府京丹後市)	関係議員
8	金	北陸新幹線早期全線開業特別委員会 全員協議会	関係議員 全議員
12	火	北陸新幹線早期全線開業特別委員会と若者との意見交換会	関係議員
13	水	議会運営委員会管外視察(北海道栗山町・登別市)～15日	関係議員
19	火	京都市会議長訪問 議会報告会(雲浜・松永・遠敷・中名田)	議長・関係議員 全議員

20	水	嶺南広域行政組合議会代表者会議(敦賀市) 福井県原子力発電所準立市町連絡協議会研修・中央要望(茨城県東海村・東京都内)～21日	関係議員 議長
21	木	各派代表者会議	関係議員
22	金	議会運営委員会 嶺南市町議長会県要望活動 議会報告会(小浜・西津・宮川・今富)	関係議員 議長 全議員
25	月	全員協議会	全議員
26	火	地域防災・原子力安全対策特別委員会 若狭広域行政事務組合議会代表者会議(若狭町)	関係議員 関係議員
27	水	北陸新幹線早期全線開業特別委員会県要望活動	議長・関係議員
28	木	小浜市原子力発電環境安全対策協議会総会	議長・関係議員
29	金	令和元年第5回(12月)小浜市議会定例会、予算決算常任委員会 広報委員会	全議員 関係議員

## 12月

日	曜	行事等内容	出席者
2	月	産業教育常任委員会・分科会	関係議員
3	火	総務民生常任委員会・分科会	関係議員
4	水	産業教育常任委員会、地域防災・原子力安全対策特別委員会 若狭広域行政事務組合議会(若狭町)	関係議員 関係議員
5	木	嶺南市町議長会県議会要望活動	議長
9	月	総務民生常任委員会	関係議員
10	火	公立小浜病院組合議会	関係議員
12	木	令和元年第5回(12月)定例会(一般質問)、 全員協議会 議会運営委員会	全議員 関係議員
13	金	令和元年第5回(12月)定例会(一般質問) 北陸新幹線早期全線開業特別委員会	全議員 関係議員
16	月	北陸新幹線早期全線開業特別委員会、議会報告会連絡会、各派代表者会 予算決算常任委員会	関係議員 全議員
20	金	議会運営委員会 令和元年第5回(12月)定例会、全員協議会	関係議員 全議員
22	日	障がい者問題を共に考えよう小浜フォーラム	議長・関係議員
24	火	若狭消防組合議会	関係議員
25	水	嶺南広域行政組合議会	関係議員
26	木	公立小浜病院組合議会	関係議員

## 編集後記

明けましておめでとうございませう。市民の皆様には令和2年の新春を健やかに迎えに出来ましたこととお慶びを申し上げます。

さて、福井県では、皆さんとともに運動を重ねています北陸新幹線敦賀開業の足音が近づいてきました。市民の生活が豊かになるためには、経済の活性化が不可欠であると考えます。皆様にとりまして素晴らしい1年でありませうお祈り申し上げます。

広報委員会では、市民の皆様が議論、審議している内容を、いかにわかりやすくお伝えできるか検討を重ね努力をしております。今後ともご意見・ご要望など、お気づきの点がありましたら何でも結構ですので、お寄せいただきますようお願いいたします。

(広報委員 藤田善平)

# 特集 北陸新幹線早期全線開業特別委員会と若者との意見交換会

開催日：令和元年11月12日（火）

場 所：小浜市役所 5階全員協議会室

市議会で構成する委員9名と市内在住の大学生・高校生による若者13名の計22名が3グループに分かれ、「小浜市がめざすまちの姿」をテーマにグループワークを行い、意見交換を進めました。その後、まとめられた意見を各班ごとに発表しました。

## A班

アミューズメント系の施設及び温泉やイベントができるドームが欲しい。電車の本数をもっと増やしてほしい。駅をもっと「映える」感じにしてはなど、若者たちからは暮らしやすさや楽しむ部分を大切にしたいという意見が多数でした。



A 班発表



子育てがしやすい街にする



B 班発表



## B班

観光も大事だが、まずは地元に住んでいる人たちに誇りを持ってもらい、今住んでいる人たちの満足度を高めることが大事。働くにあたっては、女性が起業しやすく子育てしながら働きやすいまちにしてほしい。商店街に関しては小浜独特の物を作っていないと、みんな都会へ行ってしまうというストレートな意見が出ました。

## C班

まち並みや道路が暗いので、まち全体が暗い雰囲気がする。おいしい海の幸については、今やっていることをしっかり続けていくことが必要。

産業に関してはPRが不足しているとの意見が出ました。古きよきものを残して新しいものにチャレンジしてほしいという意見でした。



C 班発表

夜でも安心して歩ける街  
→ 外灯の増加  
歩道の整備



これからの新幹線時代を生きる若者たちと楽しく有意義な時間を過ごすことができました。フレッシュで率直な意見を多数いただき、委員会としてもこれらの貴重な意見を参考にして、今後のまちづくりに活かしていきたいと思えます。

### ●ホームページをご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信（本会議終了後約2週間程度で視聴できます）などさまざまな情報を掲載しています。

